



工科TIMES

Final号



茨城県立
つくば工科高等学校

〒305-0861
つくば市谷田部 1818
TEL 029-836-1441

ラインナップ

1. いよいよ迎えた **FINAL STAGE**
2. 見事な活躍! 部活動他
3. JAXA から教員に!
4. 進路速報 進学&就職

～ 中学3年生(9年生)のみなさんへ ～

令和3年度も、全世界が新型コロナウイルスに翻弄された年でした。学校も例外ではなく『オンライン授業』『学校行事の中止』そして『休校』と、今まで経験したことのない学校生活を余儀なくされました。

来年こそは、全世界がいい年になってほしいと願うばかりです。

さて、そんな状況ですが、皆さんにとって人生の中でも大きな関門となる『高校受験』が迫ってきましたね!!!

これからの数ヶ月間、残りの中学生生活を楽しみながら、高校入試という難関を無事突破できることを祈っています。最後まで振り返らずに突っ走れ 中3生(9年生)!!!



～いよいよ迎えた FINAL STAGE～



昭和2年筑波実修学校からスタートした本校は、その後谷田部農学校、谷田部高校など幾度かの校名変更を行い、平成9年に現在のつくば工科高校になりました。つくば工科になってからは『ものづくり』を中心とした教育を行い、四半世紀の間に約3700名もの卒業生を大学や専門学校、企業へと送り出してきました。そのつくば工科高校も、社会の変化や地域のニーズに対応するため、令和5年度からは科学技術を学ぶ高校へと生まれ変わることにあります。よって令和4年度の入学生は、つくば工科の最後を飾る学年になります。

令和5年度からはこう変わる

学科が変わります

【つくば工科】
・機械科 ・ロボット工学科
・電気電子科 ・建築技術科

【新校】科学技術科のみ

◇ロボット・機械領域 ◇電子・情報領域
◇建築デザイン領域 ◇化学・生物領域
※領域名は仮称

学校での学びが変わります

【つくば工科】
ものづくり
を中心とした学び



【新校】
探究(研究)活動
を中心とした学び



進路目標が変わります

【つくば工科】
就職も進学もできる学校

【新校】

大学(国公立を含め)
進学を目指す学校



～ 見事な活躍！ 自転車競技部・バスケットボール部・剣道部他 ～

関東大会優勝（朝倉君）！ 団体も初の全国大会出場！

昨年度、同好会から部活動に昇格し、いきなり全国優勝（吉田君：（現）競輪選手）という華々しいスタートをきり、今年も優秀な成績を残してくれました。

6月30日（月）、個人1kmタイムトライアルでは、朝倉俊生君（建築技術科3年）が関東大会で見事優勝、団体競技でも朝倉君、高橋郁威士君（電気電子科3年）・荒澤太登君（建築技術科1年）が頑張りをみせ、標準記録を突破し、全国大会（福井県）への出場権を獲得するという、また新たな快挙を成し遂げました。全国大会では目標としていたタイムに届かず、悔しい思いで帰ってきましたが、「まだまだ伸びしろがあり、これからが楽しみです」と顧問の岡田先生は期待を寄せています。部員数も徐々に増え、ハードな練習にも楽しそうに励んでいる部員がとても印象的で、更なる活躍が予感できます。



バスケ部 地区大会優勝！

強豪校がひしめくレベルの高い地区にあつて、県大会出場という高い壁に何度も跳ね返されてきましたが、今年のチームは、3年生の活躍もありその壁を乗り越え、高校総体地区優勝という快挙を成し遂げました。

決勝戦では、ゲーム終盤劣勢な状態に諦めムードになるかと思われましたが、選手達は試合を捨てることなく、最後までボールを追いかけて逆転勝利を収めました。



「選手達の頑張りはもちろんですが、保護者の方々の支援のおかげでこのような結果を出せました。」（顧問）と今年のチームを振り返った。すでに新しくなったチームでの戦いは始まっており、後輩たちがさらに奮起し活躍してくれることを期待しています。

剣道部も県大会出場！

武道場から響く大きな掛け声は、部員の少なさを感じさせない活気にあふれています。顧問の指導のもと、チームとして着実に力をつけてきており、春季大会では地区予選を突破し、県大会への出場を決めました。主将の飯塚大和君（建築技術科3年）は「各人の剣道スタイルの確立に向け、顧問の先生も一緒に汗を流してくださった結果です。」と喜びを語ってくれました。しかし顧問は現状に満足しておらず、「もっと、できたはず。県大会に出場するだけではなく、もっと勝てるチームを目指します。」と高い目標を掲げています。

また「剣道は、礼に始まり礼に終わる競技。勝つことだけではなく、人間形成も目標に掲げています」と武道の精神も忘れてはいません。



関東大会 3 位! ものづくりコンテスト

9月25日(土) 高校生ものづくりコンテスト電子回路組立部門関東大会(栃木大会)がオンラインで開催され、各都県代表選手16名が参加しました。

本校からは県予選を突破した、ロボット工学科3年小山雄矢君が出場し、見事第3位に入賞しました。

小山君は、県大会、関東大会を振り返り「練習の時にはうまく動作しなかったり、失敗したりしたこともありましたが、先生方のご指導のおかげで関東大会出場、そして3位という結果を残せてとてもうれしいです。全国大会にあと一歩及ばせんでしたが、さらに知識、技術の向上、そして自分自身の成長に努めたいです」と話してくれました。

指導をした添田先生からは、「関東大会2連覇を目指していたので、上位との差が数点だったことが、非常に悔しいのですが、小山君の取り組みは素晴らしかったです」とのコメントをいただきました。



IBARAKI・ドリームパス事業 本校から2チーム選出!

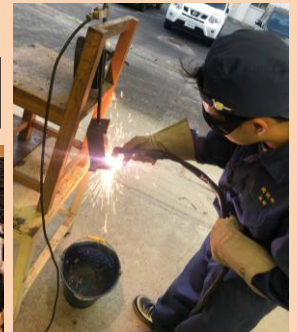
高校生などを対象に、自分の夢実現や地域課題の解決に向けた企画立案・実践活動をとおり、起業家精神(アントレプレナーシップ)の育成を目指すことを目的とした事業が令和元年度から実施されています。

今年度も40校(190チーム)からの応募(企画提案)があった中で、審査の結果16チームが決定し、本校から2チーム(機械科・ロボット工学科の課題研究班)が選出されました。今後は、1月のプレゼンテーション大会に向け、実践活動に取り組んでいく予定です。

【本校提出企画2案】

1 機械科

多機能型溶解炉開発



2 ロボット工学科

街中案内及び歩行補助を目的とした屋外自動走行システムの開発・研究

～ JAXA から教員に! 朝日新聞に掲載されました ～

9月7日(火)朝日新聞の朝刊に本校ロボット工学科の鈴木悟史先生が紹介されました。

国が後押しする「特別免許状」をもって、教員の世界に飛び込んできた異色の先生です。この免許を持っている先生は非常に少なく、先駆者的な存在です。先生は一昨年までつくば市内の宇宙開発関連会社の社員として勤務され、宇宙航空研究開発機構(JAXA)に出向して、宇宙用ロボットの研究に係わっておられました。そんな最先端を知る先生の指導やアドバイスを直接受けられることは、生徒たちにとって、とても幸せなことです。



-鈴木先生に質問-

Q:なぜ転職して教師になったのですか?

会社で後輩を指導する立場になった時、自分の経験をもっと若い人たちにも伝えたいという思いが芽生えたからです。しかし今は、教えることの難しさを実感しています。でも、生徒たちが興味をもっていろいろな質問をしてくれると、嬉しくなります。せっかく転職したのですから、少しでも生徒たちのためになれればと思っています。

-生徒たちの声-

Q:鈴木先生はどんな先生ですか?

A君:言葉遣いが丁寧で、どんなことにも気軽に答えてくれるすごく優しい先生です。

B君:専門用語が出てきて、理解しづらい時もあるのですが、そんなときも僕たちを察知して、分かりやすい言葉で説明してくれます。

C君:気軽に声をかけやすいです。

～ 進路速報 就職&進学 ～

3年生にとって人生の岐路ともいえる就職試験が9月15日から始まりました。コロナ禍という社会情勢もあって、求人数の大幅な減少を覚悟しなくてはならないかと思っていましたが、これまで同様1000社を超える会社から求人をいただきました。生徒の中にはオンライン面接など、通常とは違った就職活動に戸惑いを見せる者もいましたが、夏休み返上で準備を行い、多くの生徒が内定という結果を勝ち取りました。

合格&内定 内定者の喜びの声

令和3年10月30日(土) 現在



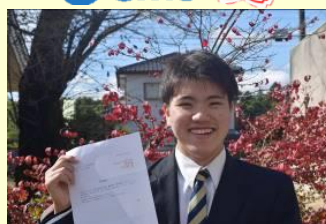
☆主な内定先☆ (下記以外にも、多くの企業に内定しています)

- ・(株)アイダ設計
 - ・オリエンタルモーター(株)
 - ・エヌ・イーケムキャット(株)
 - ・関東鉄道(株)
 - ・キャノン(株)
 - ・積水メディカル(株)
 - ・住友林業ホームエンジニアリング(株)
 - ・日立建機(株)
 - ・(株)フジキン
 - ・富士電機(株)
 - ・フルヤ金属(株)
 - ・(株)前川製作所
 - ・(株)山新
- など

一足早い春が訪れました(笑)



福田翔一君
(機械科 高山中)



内定通知が来たときは『良かった～』という気持ちでした。面接練習では何人もの先生方に指導して頂き、これまでの欠点を徹底的に改善しました。おかげで内定を頂き、色々な方々に感謝です。次は仕事で頑張ります。



青山和樹君
(ロボット工学科 藤代南中)



内定通知をもらったときはとてもホッとしました。面接練習では先生方がとても熱心に指導してくださったおかげで、自信をもって試験に臨めました。これからも様々なことに挑戦していきたいです。



鈴木圭人君
(電気電子科 高崎中)



入社試験に向けて、面接練習やSPI対策などを一生懸命頑張りました。内定通知が来たときはとても嬉しかったです。たくさんの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。



隠岐駿介君
(ロボット工学科 けやき台中)



先生から内定したと知らされたときはとても嬉しかったです。企業を見学してからは、この企業一筋で頑張ってきました。毎日の面接練習をサポートしてくれた先生方や友人、そしてここまで成長させてくれた両親に感謝です。



坂本清悟君
(建築技術科 伊奈東中)



子供のころからの夢だった大工になるために、建築の知識と技術を身に付けてきました。そのおかげで今回内定をいただくことができました。これからも技術を磨いて、一人前の大工になれるよう頑張ります。

進学者も続け

大学や専門学校希望者も、これから始まる試験に向けて準備を進めています。

四年制大学希望者は例年と同じくらいの人数(15名程度)で、千葉工業大学や日本工業大学など工学系への進学を希望している生徒や、高校での学びとは違い文系への希望をもっている生徒と様々です。また専門学校希望者の多くは、高校3年間で学んだことを更に深く学びたいと、同じ分野への進学を希望しています。

これから始まる試験シーズンに向け、万全の態勢で臨むことで、就職者同様良い結果が得られることでしょう。

